



新型コロナウイルスとエコチル調査

平素より、エコチル調査へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年初めから新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、私たちの生活は大きく変化しました。エコチル調査に参加されているお子さんも長期にわたる学校の休業などで、不安な毎日を過ごされたことと思います。現在も感染は終息しておらず、引き続き感染予防に取り組むことが大切です。

エコチル調査では、参加者と対面で行う詳細調査（6歳医学的検査）と学童期検査（小学2年）を本年3月より中止しておりましたが、個別健診方式の詳細調査については、7月下旬から十分な感染予防策をとった上で再開しました。学童期検査につきましても、参加者同士の接触を避けるために受診人数を制限して、11月から再開する予定です。既に多くの方から参加希望のお返事をいただいております。エコチル調査への期待の大きさを感じています。

こうした状況の下ですが、引き続きエコチル調査へのご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

エコチル調査兵庫ユニットセンター長
島 正之



学童期検査（追加調査）の結果報告

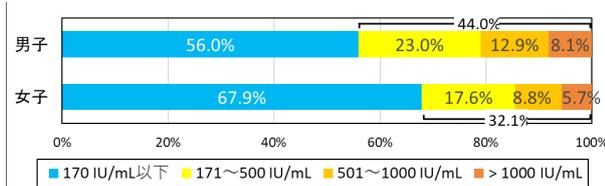
2019年度に学童期検査（小学2年生）に参加されたお子さんのうち、追加調査にご協力いただいたお子さん約400人について、アレルギー及び生活習慣病リスクに関する血液結果の一部をご報告いたします。

アレルギーの検査では、からだのアレルギーの状態をあらわす指標である総IgE値が標準値（170 IU/ml）を超えているお子さんの割合は男子44.0%、女子32.1%でした（図1(1)）。

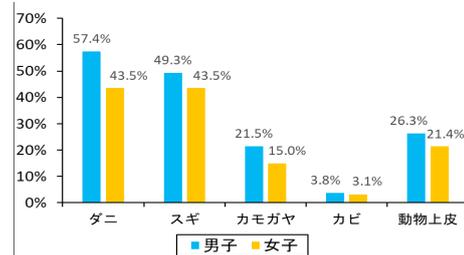
個別のアレルゲンに対する特異的IgEでは、約半数のお子さんはダニ、スギ花粉に対する抗体が陽性（クラス2以上）、約4分の1のお子さんは動物上皮（ネコ、イヌ、ハムスター）に対する抗体が陽性でした（図1(2)）。

図1 アレルギーに関する検査結果

(1) 総IgE



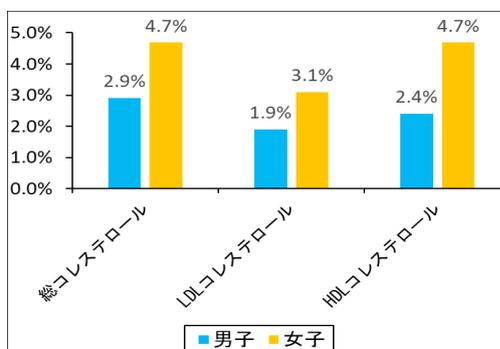
(2) 特異的IgE



各物質に対するアレルギー陽性（特異的IgE抗体がクラス2以上）の割合

コレステロールについては、総コレステロール、LDLコレステロールが標準値を超えているお子さんの割合は1.9%~4.7%であり、HDLコレステロール（いわゆる善玉のコレステロール）が標準値未満のお子さんの割合は男子2.4%、女子4.7%であり、いずれも女子の方がやや高率でした（図2）

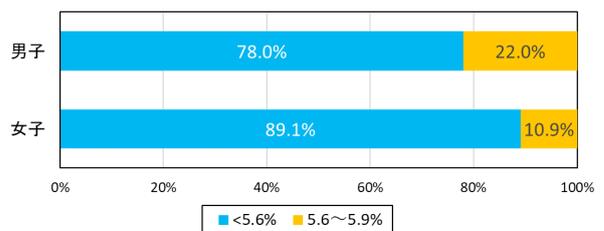
図2 コレステロールに関する検査結果



総コレステロール 220mg/dL 以上、LDLコレステロール 140mg/dL 以上、
HDLコレステロール 40mg/dL 未満の割合

検査前1~2か月間の血糖値の状態をあらわす指標であるHbA1cについては、糖尿病（6.5%以上）または境界型糖尿病（6.0~6.4%）に該当するお子さんはいませんでした。肥満や脂質異常などがある場合に将来の糖尿病発症リスクが高いとされている5.6~5.9%のお子さんの割合は男子22.0%、女子10.9%でした（図3）。

図3 糖尿病（HbA1c）に関する検査結果



男女ともに6.0%以上の人はいませんでした

2020
秋号

【編集・発行】兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 ☎0120-456-019

MAIL: ecochild@hyo-med.ac.jp URL: https://www.ecochil-hyogo.jp/

